たゆみなき「安全」の追求

安全管理の考え方

私たちは「安全」を確保するためには、全ての社員がたゆまぬ努力を継続することが必要であると考えます。2000年3月の中目黒における日比谷線列車脱線衝突事故を風化させることなく、職種を問わず、新人からベテランに至る全ての社員が安全を最優先する意識を持ち、安全文化を築き上げることが私たちの大きな務めです。

たゆみなき「安全」の追求、これが鉄道を運行する私たち東京メトログループの使命です。

安全方針

東京メトロでは、たゆみなき「安全」の追求のため、安全方針として、「輸送の安全に係る役職員の行動規範」を制定し、安全を最優先する企業風土の醸成と定着を図っています。

また、事業年度ごとに「安全防災対策の重点目標」を定め、当該目標を肝に銘じ、役員及び社員が一丸となって安全管理体制の強化に取り組んでいます。

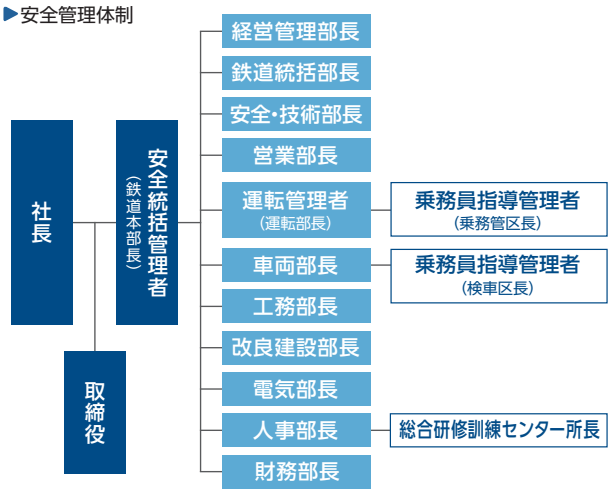
輸送の安全に係る役職員の行動規範

- 安全の確保を最優先として、一致協力して輸送の使命を達成することに努めます。
- 輸送の安全に関する法令や規程類を理解し、遵守して、厳正かつ忠実に職務を遂行します。
- 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- 職務の遂行に当たり、憶測に頼らず確認の励行に努め、疑いのあるときは、最も安全と思われる行動をとります。
- 事故・災害や、その他輸送の安全の確保に支障を及ぼすおそれがある事態が発生したときは、人命救助を最優先に、相互協力のもと、速やかに安全かつ適切な処置をとります。
- 安全に係る情報は、迅速かつ正確に関係箇所に伝達し、共有を図ります。
- 常に問題意識を持って行動し、業務の見直しが必要な場合は、積極的に対処します。

安全管理体制

社長を最高責任者として、安全統括管理者である鉄道本部長をはじめとする各管理者等の責務を明確にして、安全管理体制を構築しています。また、安全で安定した輸送を確保するため、乗務員の資質の維持管理と資質の充足状況に関する定期的な確認及び運転管理者への報告に関する業務等を行う乗務員指導管理者を設けています。

▶安全管理体制



お客様に向けた取組

お客様の安全確保と安全意識向上の促進

①自然災害発生に備えた取組

東日本大震災の経験に基づき、災害発生時におけるお客様の安全確保への取組を続けています。対策の1つとして災害により帰宅が困難となったお客様に駅構内で一時的にお待ちいただくために、飲料水、アルミ製ブランケット、簡易マット、簡易トイレなどの防災用品を東京メトロが管理する全駅（170駅）に配備し、継続して備蓄しています。東京メトロが管理する全てのエレベーター内に飲料水や簡易トイレといった非常用品を設置しています。

②お客様の安全意識向上の促進

2010年3月から全国の鉄道事業者等と共同でエスカレーターの安全利用を呼びかけるキャンペーンを実施しています。2016年度は7～8月に、お客様の転倒やお客様同士の衝突などの事故防止を啓発し、安心してご利用できるよう「みんなで手すりにつかまろう」と呼びかけました。また、目の不自由なお客様への駅社員等によるお声かけを徹底するとともに、ご利用のお客様にもお声かけ等をお願いするポスターを全駅で掲出しているほか、2016年11月～2017年3月に首都圏の鉄道事業者と連携し、「声かけ・サポート」運動強化キャンペーンを実施しました。